

一三四六番

をみなへし 佐紀沢の辺の ま葛原 いつかも繰
りて 我が衣に着む

一三四七番

君に似る 草と見しより 我が標めし 野山の
浅茅 人な刈りそね

一三四八番

三島江の 玉江の菰を 標めしより 己がとそ思
ふ いまだ刈らねど

一三四九番

かくしてや なほや老いなむ み雪降る
大荒木野の 篠にあらなくに